利用形態別設定例

1	INS ネット 64 を使用して、インターネット接続(端末型ダイヤルアップ)する	2
2	複数固定 IP 接続サービスを利用する(端末型ダイヤルアップ、NAT 未使用)	5
3	フレッツ・ISDN(IP 接続サービス)を利用する	9
4	INS ネット 64 を使用して、2ヶ所の LAN を接続する	12
5	USB ポートから、INS ネット 64 を使ってインターネットヘダイヤルアップ接続する	
	(TA モード)	18
6	USB ポートから、LAN へ接続する	21
7	OCN エコノミーを使用して、インターネット接続する	
	(NAT 未使用+自前の DNS サーバ無)	24
8	OCN エコノミーを使用して、インターネット接続する	
	(NAT 使用 + 自前の DNS サーバ有)	27
9	遠隔地の端末から LAN を利用する(RAS の利用)	31
10	コールバックを行なう	35
11	特定ポート番号宛のデータを受信する	39
12	IP フィルタを使う	42
13	特定データのみ透過する	45
14	無用な発信をおさえる	47
15	フレッツ・ADSL(PPPoE 接続サービス)を利用する	50
16	専用線を使用して、2ヶ所の LAN を接続する	53
17	専用線を使用して、2ヶ所の LAN を接続し、既存のインターネットプロバイダを共有する	57
18	固定 IP 接続サービスを利用して、サーバを公開する(端末型ダイヤルアップ、NAT 使用)63
19	フレッツ・グループアクセス(NTT 東日本)/フレッツ・グループ(NTT 西日本)を	
	利用して、Windows ファイルを共有する(端末型払い出し)	67
20	フレッツ・グループアクセス(NTT 東日本)/フレッツ・グループ(NTT 西日本)を	
	利用して、Windows ファイルを共有する(LAN 型払い出し)	73
21	アクセスポイントモードでワイヤレス LAN のエリアを拡張する(ローミング)	77

1 INS ネット 64 を使用して、インターネット接続(端 末型ダイヤルアップ)する

INS ネット 64 を使って、インターネットに端末型ダイヤルアップ接続します。



設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、ブラウザによる設定を行ないます。
- 本商品の IP アドレスは、新規 LAN を構築する場合は初期値のままお使いください。既存の LAN に接続する場合は、既存 LAN のネットワークに合わせて変更してください。
- インターネットプロバイダから通知された、電話番号、ユーザ名、パスワードを設定します。
- 既存の LAN に DHCP サーバがある場合は、本商品の DHCP サーバ機能を「使用しない」に設定 します。

動作条件の例

インターネットプロバイダ A に接続

設定例

1 設定用のパソコンを1台決め、パソコンを本商品に接続します。

ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。

インターネットプロバイダAへの接続先の設定を行ないます。

⚠ 注意

• 動作モード:「ダイヤルアップルータモード」でお使いください。

2 メニューより、「ダイヤルアップルータモード設定」 – 簡単設定 – ダイヤ ルアップ「端末型接続」をクリックします。

ONTT IPmare 1600R	100 <u>ダイヤルアップ</u> ルータモード設定 ルータモード設定 TAモード 設定 設定 表示 メンテナンス
動作モード	(端本刑按結設宁(簡単設宁)
ダイヤルアップルータ	"加不至按税設足\简单設足/
経路名 ポート名	設定項目設定
WAN LINE	<mark>フレッツ・ISDN</mark> ③利用しない ○利用する
LAN W-LAN USB-LAN	接続先の名前
ダイヤルアッブルータ モード設定	接続先 電話番号
簡単設定 ダイヤルアップ	ユーザー名
	パスワード
タイヤルシップ 端末型接続 <u>LAN型接続</u> <u>専用線</u> <u>BOD/BACP</u> <u>接続刺歴</u> <u>LANポート</u> ルータ	DNSサーバ 0指定 ()自動 ガライマリーIPアドレス セカンダリーIPアドレス
ルーティング スタティックルーティング IPフィルタ ✓	更新 取り消し

プロバイダから提供された情報を元に、以下の項目を設定します。

設定項目	設定例	備考
フレッツ・ISDN	◎利用しない	常時接続契約の場合は「©利用する」をク リックします。
接続先の名前	ISP-A	任意の名前を設定します。
接続先 電話番号	012-345-0000	
ユーザー名	user	インターネットプロバイダとの契約内容に 従って設定します。
パスワード	pass1	
DNS サーバ プライマリ セカンダリ	◎指定 100.101.102.103 100.101.102.104	自動取得をサポートしているインターネッ トプロバイダでは、「自動」をチェックし ます。



• DNS サーバアドレスが自動付与されないプロバイダに接続する場合、「自動」に設定して いると正しく接続できないことがあります。

「更新」をクリックします。-「更新しました」と表示されます。

3 「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

2 複数固定 IP 接続サービスを利用する(端末型ダイヤ ルアップ、NAT 未使用)

インターネットプロバイダから、複数のグローバル IP アドレスが割り当てられるサービスを使用します。

割り当てられるグローバル IP アドレスより端末の数が少ない場合、NAT を使用せず、各端末にグローバル IP アドレスを設定します。



設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、ブラウザによる設定を行ないます。
- インターネットプロバイダから通知された電話番号、ユーザ名、パスワードを設定します。また、 DNS サーバアドレスの指定がある場合は、DNS サーバアドレスを設定します。
- インターネットプロバイダから割り当てられたグローバルアドレスを、本商品の WAN ポートと、 接続する端末に設定します。
- アドレス変換機能を「無効」にします。

動作条件の例

- インターネットプロバイダ指定のグローバルアドレス(10.1.1.0~7)8個
- ネットワークアドレス(10.1.1.0)は WAN 側 IP アドレスとして設定します。ブロードキャスト アドレス(10.1.1.7)はルータや端末に設定できません。

■ 本商品の WAN 側 IP アドレス	:10.1.1.0
----------------------	-----------

- 本商品の LAN 側 IP アドレス : 10.1.1.1
- 端末に設定する IP アドレス(最大 5 端末まで) : 10.1.1.2 ~ 10.1.1.6
- インターネットプロバイダ指定の DNS サーバ :100.101.102.103、100.101.102.104

設定例

1 設定用のブラウザを1台決め、パソコンを本商品に接続します。

ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。

インターネットプロバイダAへの接続先の設定を行ないます。

⚠ 注意

動作モード:「ダイヤルアップルータモード」でお使いください。

2 メニューより、「ダイヤルアップルータモード設定」 – 詳細設定 – 「端末 型接続」をクリックします。

② NTT <i>IPmare</i> 1600RD で、 <i>U-9E-FBE</i> <u>294-FBE</u> <i>U-9E-FBE</i> <i>U-9E-FBE</i> <i>D-9E-FBE</i>			
ダイヤルアッブルータ モード設定	▲ 端末型接続設定(詳細設定)		
簡単設定 ダイヤルアップ <u>端末型接続</u> 詳細設定	<u>ダイヤルアップ RAS RASユーザー登録</u> ダイヤルアップ		
<u>自動接続</u> タイヤルアップ	ダイヤルアップ選択 ダイヤルアップ1 ▼ 設定項目 設定		
<u>LAN型接続</u> <u>専用線</u> BOD/BACP	= フレッツ・ISDN ④利用しない ○利用する		
<u>接続制限</u> <u>LANポート</u> ルータ	接続先の名前		

3 接続先の情報を設定します。

設定項目	設定例	備考
フレッツ・ISDN	◎利用する	
接続先 電話番号 1	1492	
ユーザー名	user@xxxx.xxx	フレッツ・ISDN およひインター ネットプロバイダとの契約内容に 従って設定します
パスワード	pass1	
Unnumbered WAN 側 IP アドレス	©使用しない 10.1.1.0	Unnumbered を使用せず、割り当て られたネットワークアドレスを WAN 側に設定します。
アドレス変換 NAT IP マスカレード	◎無効 ◎無効	アドレス変換を行ないません。
自動切断	◎無効	常時接続契約なので「◎無効」をク リックします。
DNS サーバ プライマリ IP アドレス	◎指定 100.101.102.103	プロバイダから指定された DNS サーバアドレスを設定します。

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

4 本商品の LAN 情報を設定します。「ルータ」をクリックします。

🕐 NTT				
IPmate 1600R	$\textit{\textit{IPmare}1600RD} \stackrel{\text{\tiny{IDP}}}{\stackrel{\text{\tiny{IDP}}}}{\stackrel{\text{\tiny{IDP}}}{\stackrel{\text{\tiny{IDP}}}{\stackrel{\text{\tiny{IDP}}}}{\stackrel{\text{\tiny{IDP}}}{\stackrel{\text{\tiny{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}{\stackrel{\text{\tiny{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}{\stackrel{\text{\tiny{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}{\stackrel{\text{\tiny{IDP}}}{\stackrel{\text{\tiny{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}{\stackrel{\text{\tiny{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}{\stackrel{\text{\tiny{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}{\stackrel{\text{\tiny{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}{\stackrel{\rm{IDP}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}}{\stackrel{\text{\scriptstyle{IDP}}}}}{\text{$			
ダイヤルアップルータ モード設定	ダイヤルアップルータ モード設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
簡単設定 ダイヤルアップ <u> 端末型接続</u> <u> し HCPサーバ DNSサーバ SYSLOG</u>				
詳細設定	LAN情報			
目見り接続 ダイヤルアップ	設定項目	設定		
端末型接続 LAN型接続 専田49	LAN(則	IPアドレス		
BOD/BACP		ネットマスク		
接続制限 LANポート		24 (255.255.255.0)		
1-3	and the second			
フタティング	ホスト名	IPMATE1600RD		

● LAN 情報

設定項目	設定例	備考
LAN 側 IP アドレス ネットマスク	10.1.1.1 xx(プロバイダの指定に従う)	プロバイダから割り当てられた IP アドレス、ネットマスクを設 定します。

● DHCP サーバ

設定項目	設定例	備考
DHCP サーバ	◎無効	各端末にグローバル IP アドレス を設定します。

「更新」をクリックします。-「更新しました」と表示されます。

「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。

☆Point/

- 本商品の設定終了後、ネットワークに接続するパソコンにはそれぞれグローバルアドレス等の設定が必要です。
 例) IP アドレス 10.1.1.2
 - サブネットマスク 255.255.255.0 デフォルトゲートウェイ 10.1.1.1 DNS サーバ 10.1.1.1

8

<u>3 フレッツ・ISDN(IP 接続サービス)を利用する</u>

フレッツ・ISDN(IP 接続サービス)を利用して、常時接続します。



利用形態1のように、INSネット64を使い、インターネットプロバイダに端末型ダイヤルアップで 接続する例で説明します。

設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、ブラウザによる設定を行ないます。
- インターネットプロバイダから通知された電話番号、ユーザ名、パスワードを設定します。また、 プロバイダから DNS サーバアドレスの指定がある場合は、DNS サーバアドレスを指定します。
- フレッツ・ISDN を利用する接続先を決定します。
- 既存の LAN に DHCP サーバがある場合は、本商品の DHCP サーバ機能を「使用しない」に設定 します。

動作条件の例

インターネットプロバイダ A に接続

■ フレッツ・ISDN(IP 接続サービス)を使用

設定例

1 設定用のパソコンを1台決め、パソコンを本商品に接続します。

ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。



• 動作モード:「ダイヤルアップルータモード」でお使いください。

メニューより、「ダイヤルアップルータモード設定」 – 詳細設定 – 「自動 接続」をクリックします。

() NTT IPmate 1600R		
ダイヤルアッブルータ モード設定	自動接続設定	
簡単設定 ダイヤルアップ	設定項目 設定	
<u>端末型接続</u> 詳細設定 自動接続 ダイヤルアップ	接続先 接続先 ダイヤルアップ1 ▼	
<u>端末型接続</u> LAN型接続 専用線 BOD/BACP	<u>メイヤルアップ1</u> 接続失敗時の再発信規制 ダイヤルアップ3 メイヤルアップ3 メイヤルアップ3 イヤルアップ4	
<u>接続制限</u> LANポート	更新 取り消し	

設定項目	設定例	備考
接続先	◎自動 ダイヤルアップ1 接続	フレッツ・ISDN の接続先に自動接続します。

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

3 次に、接続先の情報を設定します。

詳細設定-「端末型接続」をクリックします。「端末型接続設定(詳細設定)」画面が表示されます。

「ダイヤルアップ選択」で、自動接続先に選択したダイヤルアップ先を選択します。

ダイヤルアッブルータ モード設定	端末型接続設定(詳細設定)
簡単設定 ダイヤルアップ	ダイヤルアップ RAS RASユーザー登録
<u>端末型接続</u> 詳細設定	ダイヤルアップ
日期 ダイヤルアット	◎ 1 YU F * 3 78 H 31 YU F * 3 1 YU F *
IN型接続 専用線	フレッツ・ISON C利用しない C利用する
BUD/BACP 接続制限 LANポート	接続先の名前
<u>ルータ</u> ルーティング	接绕先 電話番号1
ス <u>タティックルーティンク</u> IP <u>フィルタ</u> MACアドレスフィルタ	電話番号2
NAT DNS名前解決	電話#号3
<u>メール着信</u> ▼	

フレッツ・ISDN でダイヤルアップ接続する接続先の各項目を設定します。インターネット サービスプロバイダとの契約内容により、必要な項目を設定してください。

設定項目	設定例	備考
フレッツ・ISDN	◎利用する	
接続先の名前	ISP-A	任意の名前を設定します。
接続先 電話番号 1	1492	
ユーザー名(発信)	user@XXX.XXX	フレッツ・ISDN およびインダーネット プロバイダとの契約内容に従って設定し
パスワード(発信)	pass1	ау.
DNS サーバ プライマリ セカンダリ	◎指定 100.101.102.103 100.101.102.104	自動取得をサポートしているインター ネットプロバイダでは、「自動」をチェッ クします。
自動切断	◎無効	常時接続契約なので、「◎無効」をクリッ クします。

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

⚠ 注意

- フレッツ・ISDN を選択すると、IP フィルタの設定が変更されます。IP フィルタにつきましては、IPMATE1600RD 取扱説明書の第2部「6.10 IP フィルタ」(P.6-37)をご参照ください。
- 「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。

4 INS ネット 64 を使用して、2ヶ所の LAN を接続する





設定のポイント

- それぞれのネットワークで設定用のパソコンを1台決め、ブラウザによる設定を行ないます。
- 本商品の LAN 側 IP アドレス、サブネットマスクを設定します。相手 LAN のネットワークアドレスとは異なる値にします。
- 相手側の電話番号を設定します。また、発信側ユーザ名、パスワード、着信側ユーザ名、パス ワードを設定します。
- アドレス変換を無効とします。
- 既存 LAN に DHCP サーバがある場合は、本商品の DHCP サーバ機能を「使用しない」に設定します。

動作条件の例

LAN1 を構築

■ LAN1 側のネットワーク: 192.168.1.0/24 とします。

LAN2 を構築

■ LAN2 側のネットワーク: 192.168.2.0/24 とします。

WAN 側 IP アドレス

■ Unnumbered を使用する場合は設定しません。

■ Unnumbered を使用しない場合は WAN 側 IP アドレスを設定します。 LAN1 側 IPMATE1600RD: 192.168.3.1 LAN2 側 IPMATE1600RD: 192.168.3.2

設定例

≪ LAN1 側の設定≫

設定用のパソコンを1台決め、パソコンを本商品に接続します。
 ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。
 LAN2への接続先の設定を行ないます。

/ 注意

動作モード:「ダイヤルアップルータモード」でお使いください。

 メニューより、「ダイヤルアップルータモード設定」-詳細設定-「自動 接続」をクリックします。

() NTT IPmare 1600R	
動作モード ダイヤルアッブルータ 経路名 ボート名 WAN LINE LAN USB-LAN ダイヤルアッブルータ モード読定 竹中販定 ダイヤルアッブ 第4職院定 自動振振 自動振振 ダイヤルアッブ	自動接続設定 設定項目 接続先 接続先 タイヤルアップ1 ダイヤルアップ1 ダイヤルアップ1 メイヤルアップ1 メイヤルアップ1 メイヤルアップ1 メイヤルアップ1 メイヤルアップ1 メイヤルアップ1 メイヤルアップ2 メイヤルアップ2 メイヤルアップ3 東制する マイヤルアップ4 国知 現の消し

設定項目	設定例	備考
接続先	◎自動 LAN 型接続	LAN 型接続の接続先に自動接続します。

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

3 次に、接続先の情報を設定します。

詳細設定-「LAN 型接続」をクリックします。「LAN 型接続設定(詳細設定)」画面が表示 されます。

動作モード ダイヤルアップルータ	LAN型接続設定(詳細設定)	
経路名 ボート名 WAN LINE LAN W-LAN	設定項目 設定 接続先の名前	
USB-LAN ダイヤルアッブルータ モード設定	ユーザー名 (発信)	
簡単設定 ダイヤルアップ <u>端末型接続</u>	パスワード(発信)	
詳細設 定 自動接続 ダイヤルアップ 端末型接続 (利型接続 専用線	接続先 IPアドレス ネットマスク 24 (255.255.255.0) ▼	

LAN 型接続設定(詳細設定)の各項目を設定します。接続先 LAN にあわせて、必要な項目 を設定してください。

設定項目	設定例	備考
接続先の名前	LAN2	任意の名前を設定します。
接続先 電話番号	012-345-0000	接続先(LAN2)の電話番号を設定します。
ユーザー名(発信)	LAN1id	LAN1 から発信して LAN2 へ接続するための
パスワード(発信)	LAN1pass	ユーザー名、パスワードを設定します。
接続先 IP アドレス ネットマスク	192.168.2.1 255.255.255.0	LAN2 の IP アドレス、ネットマスクを設定 します。
ユーザー名(着信)	LAN2id	LAN2 から発信して、LAN1 へ接続するため
パスワード(着信)	LAN2pass	のユーザー名、パスワードを設定します。
Unnumbered	◎使用する	使用しない場合は LAN2 の WAN 側 IP アド レスと同じネットワークになるよう WAN 側 IP アドレスを設定します。 例)P.12 構成図の場合は「192.168.3.1」を 設定します。
アドレス変換 NAT IP マスカレード	◎無効 ◎無効	

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

4 LAN1 のルータ設定を行ないます。

詳細設定-「ルータ」をクリックします。「ルータ設定」画面が表示されます。

一下該定			
単設定	LAN情報 D-11	<u>アレスLAN情報 DHCPサーバ DNSサーバ SYS</u>	LOG
ダイヤルアップ			
端末型接続	IANI情報		
制設定	いていていていていていた。	1 0字	
動接続	a双,E-4月日	ague	
「イヤルアップ	I ANI/BI	די ואבינו.	_
「加水子」「対応	C. O. C. S.		
		192.168.1.1	
		ネットマスク	
		24 (255.255.255.0)	
ONTEST			_
4-3	ホスト名	IDMATE COODD	
リーティング	124140	IPMATEIGUURD	
	IPフィルタ	○ 無効	

●「LAN 情報」にて次の項目を設定します。

設定項目	設定例	備考
LAN 側 IP アドレス ネットマスク	192.168.1.1 24 (255.255.255.0)	
IP フィルタ	◎有効	ご利用形態にあわせてフィルタを設定して ください。

ルータ設定-「DHCP サーバ」をクリックします。

	DHCPサーバ		
	設定項目	設定	
簡単設定			
ダイヤルアップ	DHCP++	C=1 C+1	
端末型接続	Strine S 111	し 無効 し 有効	
詳細設定			
自動接続	割当てアドレス	開始IPアドレス	
ダイヤルアップ		192.168.1.2	
端末型接続		線フIPアドレフ	
LAN型接続			
専用線		192.168.1.250	
BOD/BACP			
接続制限	DHCPサーバにて広報する	情報	
LANボート			
ルータ	リース時間	20	
ルーティング	J Xeenar	72 時間	
スタティックルーティング	II		

●「DHCP サーバ」にて次の項目を設定します。

設定項目	設定例	備考
DHCP サーバ	◎有効	
割り当てアドレス (開始) (終了)	192.168.1.2 192.168.1.250	

「更新」をクリックします。-「更新しました」と表示されます。

「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。

≪ LAN2 側の設定≫

設定の手順は「LAN1側の設定」と同様です。LAN2からの接続先がLAN1になるように設定します。 各設定画面で「更新」をクリックします。

●「ダイヤルアップルータモード設定」-詳細設定-「自動接続」の設定

設定項目	設定例	備考
接続先	◎自動 LAN 型接続	LAN 型接続の接続先に自動接続します。

●詳細設定-「LAN 型接続」の設定

設定項目	設定例	備考
接続先の名前	LAN1	任意の名前を設定します。
接続先 電話番号	012-333-4444	接続先(LAN1)の電話番号を設定します。
ユーザー名(発信)	LAN2id	 LAN2 から発信して LAN1 へ接続するための
パスワード(発信)	LAN2pass	ユーザー名、パスワードを設定します。
接続先 IP アドレス ネットマスク	192.168.1.1 255.255.255.0	LAN1 の IP アドレス、ネットマスクを設定しま す。
ユーザー名(着信)	LAN1id	 LAN1 から発信して、LAN2 へ着信するための
パスワード(着信)	LAN1pass	ユーザー名、パスワードを設定します。
Unnumbered	◎使用する	使用しない場合は LAN2 の WAN 側 IP アドレス と同じネットワークになるよう WAN 側 IP アド レスを設定します。 例) P.12 構成図の場合は「192.168.3.2」を設定 します。
アドレス変換 NAT IP マスカレード	◎無効 ◎無効	

●詳細設定-「ルータ」- LAN 情報の設定

設定項目	設定例	備考
LAN 側 IP アドレス ネットマスク	192.168.2.1 24 (255.255.255.0)	
IP フィルタ	◎有効	ご利用形態にあわせてフィルタを設定してくだ さい。

●詳細設定-「ルータ」-「DHCP サーバ」の設定

設定項目	設定例	備考
DHCP サーバ	◎有効	
割当てアドレス 開始 IP アドレス 終了 IP アドレス	192.168.2.2 192.168.2.250	

すべての設定終了後、「TOP」-「設定反映」をクリックします。

以上で LAN2 側の設定は完了です。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。

5 USB ポートから、INS ネット 64 を使ってインター <u>ネットヘダイヤルアップ接続する(TA モード)</u>

USB ポートに接続した端末から、INS ネット 64 を使用して、インターネットへダイヤルアップ接続 します。



設定のポイント

- TA モードで使用するパソコンを USB ポートに接続します。
- 端末に、インターネットプロバイダから通知された、電話番号、ユーザ名、パスワードを設定します。

動作条件

■ USB ポートに接続したパソコンから、インターネットプロバイダ A に接続

▲ 注意

- 動作モード:「TA モード」でお使いください。
- USB ポートに接続するパソコンには、USB ドライバをインストールします。

USBポートから、INSネット64を使ってインターネットへダイヤルアップ接続する(TAモード)

≪ USB ポート端末の設定≫

1 付属の CD-ROM から、USB ドライバをインストールします。

// 注意

- USB 本商品に付属の CD-ROM メニューから、USB ドライバをインストールして、パソコ ンを再起動するまで、USB ケーブルはパソコンにつながないでください。
- 2 USB ドライバをインストール後、パソコンを再起動し、TA モードにした IPMATE1600RD の USB ポートと、パソコンの USB ポートを、付属の USB ケーブルで接続します。



USB ドライバが組み込まれます。

設定例

端末にダイヤルアップ設定を行ないます。

設定項目	設定例	備考
電話番号	012-345-0000	インターネットプロバイダとの契約内容に従って 設定してください。
IPアドレス	自動取得	
サーバの種類	TCP/IP のみ	
PPP 設定 ユーザ ID	user	インターネットプロバイダとの契約内容に従って
PPP 設定 パスワード	pass1	設定してください。

6 USB ポートから、LAN へ接続する

USB ポートに接続した端末を、本商品の LAN に参加させることができます。

LAN ポートに接続する場合と同じく、インターネットに接続したり、ネットワーク上の資源を利用できます。

ここでは、INS ネット 64 回線を利用している場合の例で説明します。



設定のポイント

- IPMATE1600RDのLANを構築後、パソコンをUSBポートに接続します。
- IPMATE1600RD の USB ポートをパソコンのネットワークアダプタとして使用します。

動作条件

USB ポートにパソコンを LAN 接続する。

設定例

IPMATE1600RD は初期値のままで USB-LAN の接続ができます。



- 動作モード:「ダイヤルアップルータモード」または「ブロードバンドルータモード」で お使いください。
- USB ポートに接続するパソコンには、USB ドライバをインストールします。

≪ USB ポート端末の設定≫

1 付属の CD-ROM から、USB ドライバをインストールします。

// 注意

- 本商品に付属の CD-ROM メニューから、USB ドライバをインストールして、パソコンを 再起動するまで、USB ケーブルはパソコンにつながないでください。
- 2 USB ドライバをインストール後、パソコンを再起動したら、ダイヤル アップルータモード、ブロードバンドルータモードの IPMATE1600RD の USB ポートと、パソコンの USB ポートを、付属の USB ケーブルで接続 します。



USB ドライバが組み込まれます。

3 USB-LAN で接続したパソコンから、ブラウザ設定画面を表示して、正し く設定されていることを確認します。

・スタート⇒ファイル名を指定して実行をクリックします。

ファイル名を打	皆定して実行	? ×
<u></u>	開きたいプログラム、フォルダ、ドキュメント、またはイ ネットリソースの名前を入力してください。	ンター
名前(<u>O</u>):	http://192.168.1.1	-
	OK キャンセル 参照	(<u>B</u>)

http://192.168.1.1(IPMATE1600RD の LAN 側 IP アドレス)を入力して、「OK」をクリッ クします。

IPMATE1600RD のブラウザ設定画面が表示されます。

USB-LAN で接続したパソコンは、LAN ポートに接続したパソコンと同様に使用できます。

7 OCN エコノミーを使用して、インターネット接続す る(NAT 未使用+自前の DNS サーバ無)

LAN を構築し、OCN エコノミーを使って、インターネットに接続します。

ただし、インターネットプロバイダから割り当てられたグローバルアドレスの数より、端末の台数が 少ない場合について説明します。この場合、NATを使用せず、グローバルアドレスを各装置に割り当 てます。



設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、ブラウザによる設定を行ないます。
- インターネットプロバイダから通知された、グローバルアドレスを LAN に割り当て、本商品の LAN 側 IP アドレス、サブネットマスクを設定します。また、NAT(アドレス変換)機能を「無 効」に設定します。

動作条件

インターネットプロバイダ A に接続

- インターネットプロバイダ指定のグローバルアドレス(10.1.1.0/29)8個 ネットワークアドレス=10.1.1.0 ブロードキャストアドレス=10.1.1.7
- 本商品の IP アドレス:10.1.1.1
- DHCP 機能で割り当てるアドレス: 10.1.1.2 ~ 10.1.1.6
- インターネットプロバイダ指定の DNS サーバアドレス(100.101.102.103 と 100.101.102.104) を使用

⚠ 注意

- 動作モード:「ダイヤルアップルータモード」でお使いください。
- 本商品の電源を切り、設定スイッチを「OCN エコノミー」に変更してお使いください。
 NO. 8: OFF NO. 9: OFF

設定例

設定用のパソコンを1台決め、パソコンを本商品に接続します。
 ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。

2 メニューより、「ダイヤルアップルータモード設定」 – 詳細設定 – 「専用 線」をクリックします。「専用線設定(詳細設定)」画面が表示されます。

● NTT <i>IPmare</i> 1600RD IE <u>ダイセルアップ オードリンド</u> IAモード アナログホート 着信制脚 表示 メノテナンス 設定 認定 認定 また メノテナンス			
ダイヤルアップルータ モード設定	專用線設定(詳細設定)		
簡単設定 ダイヤルアップ 端末型接流 目動接続 ダイヤルアップ 道末型接流 山化型接流 西辺辺接流 BOD/BAOP 接続限度	設定項目 設定 ユーザー名(発信) パスワード(発信) 接続先 IPアドレス		
LANボート ルーラ スタティックルーティング アフィルタ MACアドレスフィルタ NAT DNS名前端法 スール増信	ユーザー名(着信) パスワード(着信) Unnumbered ◎ 使用」ない ○ 使用する WAN(御Pアドレス		

OCN エコノミーの契約内容にあわせて、接続情報を設定します。

設定項目	設定例	備考
Unnumbered	◎使用する	
アドレス変換 NAT IP マスカレード	◎無効 ◎無効	
DNS サーバ プライマリ IP アドレス セカンダリ IP アドレス	100.101.102.103 100.101.102.104	

「更新」をクリックします。-「更新しました」と表示されます。

3 次に、LAN 側の設定を行ないます。詳細設定 – 「ルータ」をクリックします。「ルータ設定」画面が表示されます。

ダイヤルアッブルータ モード設定	ルータ設定		
簡単設定 ダイヤルアップ 端末型接続	LAN情報 ワイヤ	LANI債報 ワイヤレスLANI債報 DHCPサーバ DNSサーバ SYSLOG	
詳細設定	LAN情報		
<u>自動接続</u> ダイヤルアップ	設定項目	設定	
<u>端末型接続</u> LAN型接続 専田線	LAN側	IPアドレス 192.168.1.1	
BOD/BACP 接続制限		ネットマスク 24 (255,255,0)	
LANボート ルータ ルーティング	ホスト名	IPMATE1600RD	
スタティックルーティング IPフィルタ MACアドレスフィルタ NAT	IPフィルタ	 ○ 無効 ● 有効 Pフィル/設定 	

次の項目を設定します。

● LAN 情報

設定項目	設定例	備考
LAN 側 IP アドレス ネットマスク	10.1.1.1 29(255.255.255.248)	インターネットプロバイダより指定さ れたグローバルアドレスを設定します。
IP フィルタ	◎有効	ご利用形態にあわせてフィルタを設定 してください。

● DHCP サーバ

設定項目	設定例	備考
DHCP サーバ	◎有効	
割当てアドレス 開始 IP アドレス 終了 IP アドレス	10.1.1.2 10.1.1.6	インターネットプロバイダより指定さ れたグローバルアドレスを設定します。

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

4 「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。

8 OCN エコノミーを使用して、インターネット接続す る(NAT 使用+自前の DNS サーバ有)

LAN を構築し、OCN エコノミーを使って、インターネットに接続します。

ただし、インターネットプロバイダから割り当てられたグローバルアドレスの数より、端末の台数が 多く、かつ、OCN 側の DNS サーバとともに自分で用意した DNS サーバを使用する場合について説 明します。この場合、NAT を使用し、プライベートアドレスを各装置に割り当てます。



設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、ブラウザによる設定を行ないます。
- インターネットプロバイダから通知された、グローバルアドレスを LAN に割り当てず、プライベートアドレスを割り当てます。同様に、本商品の LAN 側 IP アドレス、サブネットマスクにプライベートアドレスを設定します。
- WWW サーバ等にグローバルアドレスを割り当てる場合は、NAT(アドレス変換)機能を「使用 する」に設定し、グローバルアドレスを設定します。

動作条件

/ 注意

- 動作モード:「ダイヤルアップルータモード」でお使いください。
- 本商品の電源を切り、設定スイッチを「OCN エコノミー」に変更してお使いください。
 NO. 8: OFF NO. 9: OFF

インターネットプロバイダ A に接続

インターネットプロバイダ指定のグローバルアドレスの割当て(10.1.1.0/29)8個 ネットワークアドレス=10.1.1.0 ブロードキャストアドレス=10.1.1.7 端末使用可能アドレス:10.1.1.1~10.1.1.6

■ 自前の DNS サーバ(192.168.1.248)を使用する

- 割り当てるプライベートアドレス
 本商品の IP アドレス: 192.168.1.1
 DHCP 機能で各 PC に割り当てるアドレス: 192.168.1.2 ~ 192.168.1.247
- インターネットプロバイダ指定の DNS サーバ(100.101.102.103)を使用

設定例

- 1 設定用のパソコンを1台決め、パソコンを本商品に接続します。 ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。
- 2 メニューより、「ダイヤルアップルータモード設定」-詳細設定-「専用 線」をクリックします。「専用線設定(詳細設定)」画面が表示されます。

$\begin{array}{c} \textcircled{\textcircled{\baselineskip}{200}} \hline \hline$			
タイヤルアッブルータ モード設定	専用線設定(詳細設定)		
簡単設定 ダイヤルアップ	設定項目設定		
<u>端本空境级</u> 詳細設定 自動接続	ユーザー名(発信)		
ダイヤルアップ <u>端末型接続</u> LAN型接続	パスワード(発信)		
第田線 BOD/BACP 接続制限	接続先 IPアドレス		
<u>LANボート</u> ルータ ルーティング	ユーザー名(著信)		
<u>スタティックルーティング IPフィルタ</u> MACアドレスフィルタ	パスワード(著信)		
NAT DNS名前解決 メール着信	Unnumbered ④ 使用しない WAN側Pアドレス		

OCN エコノミーの契約内容にあわせて、接続情報を設定します。

設定項目	設定例	備考
Unnumbered	◎使用する	
アドレス変換 NAT IP マスカレード IP マスカレード用 IP アドレス	◎有効 ◎有効 10.1.1.2	グローバルアドレスを設定 します。
DNS サーバ プライマリ IP アドレス セカンダリ IP アドレス	192.168.1.248 100.101.102.103	

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

3 次に、LAN 側の設定を行ないます。詳細設定 – 「ルータ」をクリックします。「ルータ設定」画面が表示されます。

ダイヤルアッブルータ モード設定	ルータ設定			
簡単設定 ダイヤルアップ	LAN情報 ワイヤ	LAN情報 ワイヤレスLAN情報 DHCPサーバ DNSサーバ SYSLOG		
<u>端末型接続</u> 詳細設定	LAN情報	 LAN情報		
目動接続	設定項目	設定		
端末型接続 LAN型接続	LAN(則	IP7ドレス		
期期線 BOD/BACP	ネットマスク			
接続制限 LANポート		24 (255.255.255.0)		
ルータ ルーティング	ホスト名	IPMATE1600RD		
スタティックルーティング IPフィルタ MACアドレスフィルタ NAT	IPフィルタ	 ○ 無効 ● 有効 IPフィル/対策定 		

次の項目を設定します。

● LAN 情報

設定項目	設定例	備考
LAN 側 IP アドレス サブネットマスク	192.168.1.1 24 (255.255.255.0)	プライベートアドレスを設定します。
IP フィルタ	◎有効	ご利用形態にあわせてフィルタを設 定してください。

● DHCP サーバ

設定項目	設定例	備考
DHCP サーバ	◎有効	
割当てアドレス 開始 IP アドレス 終了 IP アドレス	192.168.1.2 192.168.1.247	

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

☆Pointシ

- アドレス変換について LAN 内の固定端末のアドレス(例:WWW サーバなど)を、グローバル IP アドレスに変 換する場合は、NAT を設定します。
- LAN 内のローカルアドレスを特定の WAN 側アドレスに変換する場合は、「IP マスカレード」 「WAN 側 IP アドレスに、インターネットプロバイダから提供されたグローバルアドレスを設定します。
- 詳しくは IPMATE1600RD 取扱説明書の第6章「6.12 NAT 設定」(P.6-45)をご参照ください。

ITOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。

9 遠隔地の端末から LAN を利用する(RAS の利用)

RAS(リモートアクセスサーバ)機能を利用して、遠隔地の端末から INS ネット 64 を経由して、IPMATE1600RD の LAN に参加することができます。

RAS 機能を利用すると、IPMATE1600RD のネットワークの IP アドレスを遠隔地の端末に割り当てる ことができます。外出先などから、IPMATE1600RD の LAN にアクセスすることが可能となります。



設定のポイント

- 本商品の RAS 機能を「有効」に設定します。また、割当て IP アドレスや、利用者のユーザー名、 パスワードを設定します。
- 遠隔地からアクセスするパソコンに、本商品へのダイヤルアップ接続するための設定が必要です。 また、本商品へ利用者として登録したユーザー名、パスワードを設定します。

動作条件の例

LAN1 を構築

- LAN1 側のネットワーク: 192.168.1.0/24
- 遠隔地の端末に割り当てる IP アドレス: 192.168.1.253

設定例

設定用のパソコンを1台決め、パソコンを本商品に接続します。
 ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。
 本商品の RAS(リモートアクセスサーバ)機能を設定します。

⚠ 注意 _

• 動作モード:「ダイヤルアップルータモード」でお使いください。

2 「ダイヤルアップルータモード設定」 – 詳細設定メニューから「端末型接続」を選択します。

IPMATE1600RD のダイヤルアップ設定は、インターネットサービスプロバイダとの契約内容に応じて、設定します。

$\underbrace{\textcircled{O}}_{\textit{IPmate}1600RD} \underbrace{^{\textit{g}_{1} + \textit{u}_{7} + \textit{j}_{2}}}_{\textit{u}_{-2} \pm - \textit{fige}} \underbrace{^{\textit{j}_{2} - \textit{fige}}_{\textit{u}_{-2} \pm - \textit{fige}}}_{\textit{u}_{-2} \pm - \textit{fige}} \underbrace{^{\textit{j}_{1} + \textit{i}_{7} + \textit{j}_{7} + \textitj}_{7} + \textitj}_{7} + \textitj}_{7} + \textitj_{7} + \textitj}_{7} + \textitj_{7} + \textitj}_{7} + j_{7} + j_{$				

3 「RAS」画面で次の項目を設定します。

設定項目	設定		
RAS	€ 無効	〇有効	
接続先	IPアドレスを IPアドレス 192.168.1.2	指定 <u></u> 53	
接続情報	64k 💌		
翻デロトコル	自動 💌		
自動切断	C 無効 切断時間	☞ 有効	
	600		
果金コールバッ	ク @ 無か	〇有効	

設定項目	設定例	備考
RAS	◎有効	RAS を有効にします。
接続先(IP アドレス)	IP アドレスを指定 192.168.1.253	RAS ユーザに IP アドレスを割り当てる 方法を選択します。 IP アドレスを指定 – IP アドレス欄に設 定したアドレスを割り当てます。

4 RAS ユーザ登録に次の項目を設定します。

RASユーザー登	録		
設定項目設定			
ユーザー名]	
バスワード			
MS-CBCP コールバック 次の電話	り 舌番号Iこコールバック	○有効	
▲ ▼			
更新 取り消し			

設定項目	設定例	備考
ユーザー選択	ユーザー1	4 ユーザまで登録できます。設定するユー ザーを選択します。
ユーザー名	user1	
パスワード	passwd1	

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

5 「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

≪ TA 等から本商品の RAS サーバに接続するパソコンの設定例≫

パソコンにダイヤルアップ設定を行ないます。

設定項目	設定例	備考
IP アドレス/マスク	自動取得	
サーバの種類	TCP/IP のみ	
ユーザ ID	user1	IPMATE1600RD RAS ユーザ登録の設定に合わせ
パスワード	passwd1	て設定します。
		利用する LAN の DNS アドレスを設定します。
DNS	192.168.1.1	* 設定例は、本商品の IP アドレスです。RAS 接 続先に DNS サーバがある場合は、その IP ア ドレスを設定します。

≪ PHS から本製品の RAS サーバに接続するパソコンの設定例≫

パソコンに設定を行ないます。

設定項目	設定例	備考
IP アドレス/マスク	自動取得	
サーバの種類	TCP/IP のみ	
ユーザ ID	user2	IPMATE1600RD RAS ユーザ登録の設定に合わせ
パスワード	passwd2	て設定します。
		利用する LAN の DNS アドレスを設定します。
DNS	192.168.1.1	* 設定例は、本商品の IP アドレスです。RAS 接 続先に DNS サーバがある場合は、その IP アド レスを設定します。

10 コールバックを行なう

INS ネット 64 を利用して 2ヶ所の LAN を接続する際に、コールバックを行ないます。着信側が発信 側にコールバックします。コールバックの方法には、「無課金コールバック」「CBCP コールバック」 の 2 つがあります。

【無課金コールバック】

利用形態4のように、INSネット64を使い、LAN間接続する例で説明します。



設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、ブラウザによる設定を行ないます。
- 利用形態4を参照して、2ヶ所のLANを接続します。
- 無課金コールバックの設定を「有効」にします。

動作条件

■ 利用形態 4 の設定例と同じ条件で LAN1、LAN2 を接続します。

設定例

≪ LAN1 側の設定(無課金コールバックの設定)≫

設定用のパソコンを1台決め、パソコンを本商品に接続します。
 ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。
 LAN2への無課金コールバック設定を行ないます。

メニューより「ダイヤルアップルータモード設定」-詳細設定-「LAN 型接続」をクリックします。

利用形態4を参照して、LAN1を設定します。さらに、無課金コールバックを有効に設定します。

LAN 型接続先の各項目を設定します。接続先 LAN にあわせて、必要な項目を設定してください。

設定項目	設定例	備考
無課金コールバック	◎有効	

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

ITOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、LAN1 の設定完了です。

≪ LAN2 側の設定≫

利用形態4と同様にLAN2の設定を行ないます。さらに、「LAN型接続設定」の「無課金コールバック」を有効に設定します。

● LAN 型接続設定

設定項目	設定例	備考
無課金コールバック	◎有効	

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、LAN2 側の設定完了です。 *発信者番号を通知する設定にしてご利用ください。
【CBCP コールバック】

IPMATE1600RDのRAS(リモートアクセスサーバ)にダイヤルアップする例で説明します。



設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、ブラウザによる設定を行ないます。
- コールバック応答側は利用形態9と同様、端末型接続し、RAS機能を有効にします。
- コールバック応答側で RAS ユーザ登録を行ない、MS-CBCP の設定を「有効」にします。

動作条件

■ 利用形態9の設定例と同じ条件でLAN1を設定し、RAS機能を有効にします。

設定例

≪ LAN1 側の設定(CBCP コールバックの設定)≫

- 設定用パソコンを1台決め、パソコンを本商品に接続します。
 ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。
- 2 メニューより、「ダイヤルアップルータモード設定」-詳細設定-「端末 型接続」をクリックします。

RAS(リモートアクセスサーバ)を設定します。

設定項目	設定例	備考				
RAS	◎有効	RAS を有効にします。				
接続先(IP アドレス)	IP アドレスを指定 192.168.1.253	RAS ユーザに IP アドレスを割り当てる 方法を選択します。 IP アドレスを指定 – IP アドレス欄に設 定したアドレスを割り当てます。				

MS-CBCP コールバックを許可する RAS ユーザーを登録します。 RAS ユーザーを 4 人まで登録できます。

設定項目	設定例	備考
MS-CBCP コールバック	◎有効 次の電話番号に コールバック	MS-CBCP によるコールバックを有効 とし、コールバック先電話番号を設定 します。

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

3 「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

≪ TA 等に接続するパソコンの設定≫

利用形態9と同様です。

≪ PHS に接続するパソコンの設定≫

利用形態9と同様です。

11 特定ポート番号宛のデータを受信する

いくつかのアプリケーション(インターネットゲームなど)では、サーバから特定のポート番号に向 かってデータ送信されるものがあります。

その場合は、スタティック NAT 機能を使って、特定ポート番号宛てのデータを特定端末に転送する 必要があります。

どのポート番号を使用しているかはアプリケーションによって異なりますので、アプリケーションの 開発元に確認してください。



設定のポイント

- 利用形態1を参照して、ダイヤルアップルータモードで接続します。
- NAT 情報を登録します。対象とするポート番号、プロトコル受信する端末の IP アドレスを設定します。

動作条件

インターネットプロバイダ A に接続

- 利用形態1と同じ設定でダイヤルアップ接続します。
- ポート番号 TCP/UDP「116」、「117」、「118」、UDP「6112」宛のデータを、IP アドレス: 192.168.1.2 の端末に転送します。

設定例

インターネットプロバイダAへの接続先の設定を行ないます。

1 設定用のパソコンを1台決め、パソコンを本商品に接続します。

ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。

2 メニューより、簡単設定 – ダイヤルアップ「端末型接続」をクリックします。

利用形態1を参照してダイヤルアップ先を設定します。 プロバイダから提供された情報を元に接続先を登録します。

設定項目	設定例	備考				
接続先の名前	ISP-A	任意の名前を設定します。				
接続先 電話番号	012-345-0000					
ユーザ ID	user	インターネットプロバイダとの契約内容に 従って設定してください。				
パスワード	pass1					
DNS サーバ プライマリ セカンダリ	◎指定 100.101.102.103 100.101.102.104	自動取得をサポートしているインターネッ トプロバイダでは、「自動」をチェックし ます。				

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

3 NAT の設定を行ないます。

詳細設定-「NAT」をクリックします。NAT 設定画面が表示されます。 接続先を選択します。

ONTT IPmare 1600R	
タイヤルアップルータ 🔷	
	NAT設定
簡単設定	
ダイヤルアップ	接続先選択 ダイヤルアップ1 🗸
端末型接続	
詳細設定	追加 削除 登録情報クリア
自動接続	番号 LAN(側IPアドレス ポート番号 プロトコル WAN(側IPアドレス
ダイヤルアップ	開始終了
専用線	
BOD/BACP	
接続制限	登録情報
LANポート	
ルータ	番号 LANI則IP アドレス ホート番号(開始) ホート番号(終了) ブロトコル WANI則IP アドレス
<u>11-7-122</u>	
<u>スタナイックルーナインク</u>	
NAT	
DNS名前解決	

次の項目を設定します。

乳中石口	포므	LAN 側アド	ポー	~番号		WAN 側アド レス	
	留方	レス	開始	終了			
設定例1	1	192.168.1.2	116	118	*	*	
設定例2	2	192.168.1.2	6112		UDP	*	

番号ごとに、「追加」をクリックします。

☆Pointシ

• 登録した「番号」を入力して、「削除」をクリックするとその番号の情報が削除されます。

- すべての登録情報をクリアする場合は「登録情報クリア」をクリックします。
- ▲ 「TOP」−「設定反映」をクリックします。−「設定しました」と表示されます。

12 IP フィルタを使う

IP フィルタを利用すると、インターネットプロバイダと接続したり、オフィスと接続している際、ア タックなどの不正なアクセスや、不要な発信を防ぐことができます。また、特定のサービスだけを公 開(利用)することもできます。

IP フィルタは、フィルタの対象とするプロトコルと、その処理方法をブラウザ設定画面より定義して 行ないます。プロトコルには、TCP、UDP、ICMP などがあります。この機能を利用するには、これ らのプロトコルや、それらを利用したサービスに関する知識が必要になります。

また、IP フィルタをご利用いただく場合にも、IP フィルタですべてのアタック(不正なアクセス) やすべての無用な発信を防ぐことはできません。

本商品では、IP フィルタに初期値が設定されていて、代表的なアタック、不要な発信をふせぐことができます。



設定のポイント

設定可能なフィルタの数

■ IP フィルタを 64 個設定できます。

____参照_

• IP フィルタの初期値詳細につきましては、IPMATE1600RD 取扱説明書の第6章「6.10 IP フィルタ」(P.6-37) をご参照ください。

定義できるフィルタ条件

次の内容を組み合わせて定義することができます。

設定項	目	設定例	備考		
フィルタ動作		pass/reject/restrict			
経路名		WAN/LAN			
方向		in/out/inout			
	IP アドレス	洋信テロスドレスのネット	*はすべての IP アドレス		
 送信元 IP アドレス 送信元情報	ネットマスク	ワークアドレスとマスク値	を示します。このとざサノ ネットマスクは空白としま す。		
	ポート番号	送信元ポート番号	*はすべてのポートを示し ます。		
プロトコル		icmp tcp udp tcpfin tcpsyn tcprst established	*はすべてのプロトコルを 示します。		
	IP アドレス	- 宛先 IP アドレスのネット	*はすべての IP アドレス を示します。このときサブ		
 宛先 IP アドレス 宛先情報	ネットマスク	ワークアドレスとマスク値	を小しより。このとさりフ ネットマスクは空白としま す。		
	ポート番号	宛先ポート番号	*はすべてのポートを示し ます。		

≪ IP フィルタの設定例 ≫

ー般的なフィルタ定義の操作方法について、説明します。定義するフィルタ内容によって、設定内容 が変わります。

1 設定用のパソコンを1台決め、パソコンを本商品に接続します。

ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。

2 接続先の設定を行ないます。

ダイヤルアップモード設定 / またはブロードバンドモード設定それぞれの接続先を設定します。

3 IP フィルタ設定を行ないます。

初期値で利用する場合は、設定の必要ありません。

動作モード ダイヤルアップルータ	IPフィルタ設定
経路名 WAN WAN	道加 削除 登録情報クリア 番号 動作 経験名 方向 送信テ持期 プロトコル
	IPアドレス reject ▼ WAN ▼ inout ▼ IPアドレス F T
USB-LAN	90元情報 1Pアドレス ネットマスク ボート番号
ブロードバンドルータ モード設定	
<u>接続形態選択</u> ルータ	
ルーティング スタティックルーティング	
MACTFLZJANS NAT	01 reject WAN out * netbios_ns * * * 02 reject WAN out * netbios_dsm * * * 03 reject WAN out * netbios_ss * * *
<u>DNS名前解決</u> <u>メール若信</u> ニン・ポキー	04 roject WAN out * microsoft-ds * * 05 reject WAN out * * * * netbios_ns 06 reject WAN out * * * * netbios dgm
<u>フノノ表示</u>	07 reject WAN out * * * * * netbios_ssn 08 reject WAN out * * * * * microsoft-ds

- 1) 各モードのメニューより「IP フィルタ」を選択します。
- 2)「IPフィルタ設定画面」で「番号」を入力し、必要なフィルタ項目を入力します。
- 3) 1 フィルタ設定したら、「追加」をクリックします。
- 4) フィルタ定義の設定を続ける際には、2)、3) の手順を繰り返します。

☆Pointシ

- 登録した「番号」を入力して、「削除」をクリックするとその番号の情報が削除されます。
- すべての登録情報をクリアする場合は「登録情報クリア」をクリックします。
- 「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

13 特定データのみ透過する

INS ネット 64 を使って、インターネットプロバイダに端末型ダイヤルアップ接続し、特定のプロトコルのみ透過させます。



設定のポイント

- ダイヤルアップモード、あるいはブロードバンドルータモードで使用する設定を行ないます。
- IP フィルタを設定します。

動作条件

インターネットプロバイダ A に接続

- インターネットプロバイダ指定の DNS サーバ(100.101.102.103 と 100.101.102.104)を使用し ます。
- ■「WWW」「DNS」データのみ透過させます。たとえば、Telnet による外部からのアクセスは遮断されます。

☆Point/

- 特定のプロトコルごとにフィルタ定義をする場合、送信元ポート番号と宛先ポート番号に 同じ値(プロトコル名やポート番号)を指定したフィルタ設定では、正しくフィルタリン グできません。
- 例えば「WWWを透過」するフィルタ定義を作る場合、1つ目のエントリに「送信元ポート番号:すべて」「宛先ポート番号:WWW」、2つ目のエントリに「送信元ポート番号:WWW」「宛先ポート番号:すべて」を定義します。
 「送信元ポート番号:WWW」「宛先ポート番号:WWW」を1つにしたエントリは作らないでください。

設定例

インターネットプロバイダへの接続先の設定を行ないます。

- 設定用のパソコンを1台決め、パソコンを本商品に接続します。
 ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。
- ダイヤルアップルータモード、あるいはブロードバンドルータモードを 選択します。

それぞれの契約内容に従って、接続先情報を設定します。 「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。 つづいて、IP フィルタの定義を行ないます。

3 使用するモードのメニュー「IP フィルタ」をクリックし、フィルタの初 期値を消去するために「登録情報クリア」をクリックします。

IPフィルタ設定									
追加 削除 登録情報クリア									
番号	動作	経路名	方向		送信元情報		プロトコル		
				IPアドレス	ネットマスク	ポート番号			
	reject 💌	WAN 💌	inout 💌				*		
					宛先情報				
				IPアドレス	ネットマスク	ポート番号			

4 以下のフィルタ情報を順に登録します。

来			*	送信元情報			プロト		宛先情報	
晋号	動作	経路名	向	IP ア ドレス	ネット マスク	ポート 番号	コル	IP ア ドレス	ネット マスク	ポート 番号
1	pass	WAN	in	*		*	tcp	*		www
2	pass	WAN	in	*		*	tcp	*		domain
3	reject	WAN	in	*		*	tcp	*		*

番号を入力し、IP フィルタ情報を入力します。

「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。 *「IP フィルタ設定」のみを行なった場合は「設定反映」後、再起動されません。

14 無用な発信をおさえる

外部への無用な発信(発呼)をふせぐために IP フィルタを設定します。

ここでは、INS ネット 64 を使用し、インターネットプロバイダに接続している際の設定について説明します。



設定のポイント

■ 利用形態1を利用して、LANを組みます。

■ 無用な発信をおさえるための IP フィルタ条件を設定します。

設定例

インターネットプロバイダへの接続先の設定を行ないます。

設定用のパソコンを1台決め、パソコンを本商品に接続します。
 ブラウザを起動したのち、本商品にログインします。

2 ダイヤルアップルータモードを選択します。

契約内容に従って、接続先情報を設定します。 「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

3 メニューから「IP フィルタ」をクリックし、初期値を消去するために 「登録情報クリア」をクリックします。

IPフィルタ設定										
追加 削除 登録情報クリア										
番号 動作 経路名 方向 送信元情報 プロトコル IPアドレス ネットマスク ポート番号										
登録情報										
番号 動作 経路名 方向 送信元IPアドレス 送信元ポート プロトコル 宛先IPアドレス 宛先ポート										
J1 reject WAN out * netbios_ns * * * J2 reject WAN out * netbios_dgm * * *										
J3 reject WAN out * netbios_ssn * * * J4 reiect WAN out * microsoft-ds * * *										
15 reject WAN out * * * * netbios_ns										
17 reject WAN out * * * * netbios_ssn										

Λ	

無用な発信をふせぐためのフィルタを設定します。

来			送信元情報			プロト	宛先情報			
留号	動作	経路名	方向	IP ア ドレス	ネット マスク	ポート 番号	フロト コル	IP ア ドレス	ネット マスク	ポート 番号
1	restrict	WAN	inout	*		*	tcpfin	*		*
2	restrict	WAN	inout	*		*	tcprst	*		*
3	reject	WAN	inout	*		*	*	*		137
4	reject	WAN	inout	*		*	*	*		138
5	reject	WAN	inout	*		*	*	*		139
6	reject	WAN	inout	*		137	*	*		*
7	reject	WAN	inout	*		138	*	*		*
8	reject	WAN	inout	*		139	*	*		*
9	reject	WAN	inout	*		*	icmp	*		*

1、2:TCP の終了を表す TCPFIN および TCPRST パケットで発呼する必要がないため、接続中のみ透過とする。

3~8:NetBIOS のパケット送受信を制限する。9:ICMP のパケット送受信を制限する。

「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。

*「IPフィルタ設定」のみ行なった場合は「設定反映」後、再起動されません。

15 フレッツ・ADSL (PPPoE 接続サービス)を利用する

フレッツ・ADSL(PPPoE 接続サービス)を利用して、常時接続します。



設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、ブラウザによる設定を行ないます。
- ブロードバンドルータモードで使用します。
- インターネットプロバイダから通知された、ユーザ名、パスワードを設定します。 また、プロバイダから指定された場合は DNS サーバアドレスを設定します。

動作条件

インターネットプロバイダ A に接続

■ フレッツ・ADSL(PPPoE 接続サービス)を使用

設定例

1 設定用のパソコンを1台決め、パソコンを本商品に接続します。

ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。



• 動作モード:「ブロードバンドルータモード」でお使いください。

2 「ブロードバンドルータモード設定」をクリックし、メニューから「接続 形態選択」をクリックます。

$\textcircled{O} \text{NTT}$ $\emph{IPmare} 1600 \text{RD} \qquad \fbox{2470} (297-17) (29-17$			
 	<mark>接続形態選択</mark> <u>C フレッツADSL(PPPOE)</u> C その他のネットワーク C アクセスポイント 酸定画面へ 更新 取り消し		

3 「フレッツ ADSL (PPPoE)」を選択し、「設定画面へ」をクリックします。

動作モード		SI (PPPoF) 設立	,
ダイヤルアップルータ	10,000		-
経路名 ポート名	設定項目設定	Ē	
WAN WAN	PPPoE接続 。	無効 C 常時接続	
LAN W-LAN	0	自動 〇手動	
USB-LAN	WAN() IP7	7ドレス	
ブロードバンドルータ モード設定	구 ☆ [24	ットマスク (255.255.255.0) ▼	
接続形態選択 ルータ ルーティング フタティックルーティング	ユーザー名	10 - 55	
IPフィルタ MACアドレスフィルタ	パスワード		
NAT DNS名前解決 メール著信 ランプ表示	自動切断 c 切助 60	無効 C 有効 和時間 秒	
	MTU [141	54 パイト	

フレッツ・ADSL 接続のインターネットプロバイダとの契約内容に従って設定してください。

設定項目	設定例	備考
PPPoE 接続	◎常時接続	
WAN 側 IP アドレス		空欄のまま
ユーザー名	user@XXX.XXX	フレッツ・ADSL およびインターネットプ
パスワード	pass1	ださい。
DNS サーバ		インターネットプロバイダの設定によって は、DNS サーバアドレスを指定する必要が ある場合があります。

その他の項目は、インターネットプロバイダとの契約内容に従って設定してください。 「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

4 「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。

16 専用線を使用して、2ヶ所の LAN を接続する

2ヶ所の LAN を、専用線を用いて接続します。 Unnumbered 機能を使用する場合について説明します。



設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、WWW ブラウザによる設定を行ないます。
- 本商品の LAN 側 IP アドレス、サブネットマスクは、相手の LAN のネットワークアドレスと異なる値になるように設定します。
- 相手側と合わせて、PPP 認証動作、ユーザ ID、認証パスワード、相手ユーザ ID、相手パスワードを設定します。

動作条件

- LAN1 と LAN2 を専用線で接続
- 双方の WAN 側 IP アドレスは設定しない(Unnumbered を使用する)
- LAN1 側のネットワーク: 192.168.1.0/24
- LAN2 側のネットワーク: 192.168.2.0/24



- 動作モード:「ダイヤルアップルータモード」でお使いください。
- 本商品の電源を切り、設定スイッチを「専用線」に変更してお使いください。
 128K専用線モード No.8: ON No.9: OFF
 64K専用線モード No.8: OFF No.9: ON
- 接続する本商品双方の設定スイッチを合わせてください。

設定例

≪ LAN1 側の設定≫

- 設定用のパソコンを1台決め、パソコンを本商品に接続します。
 ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。
 接続先 LAN2 への設定を行ないます。
- 2 メニューより、「ダイヤルアップルータモード設定」 詳細設定 「専用 線」をクリックします。

NTT IPmare1600RD Interente1600RD Interente Interente			
ダイヤルアッブルータ モード設定	専用線設定(詳細設定)		
簡単設定 ダイヤルアップ 端末型接続 詳細設定 自動接続	設定項目 設定 ユーザー名(発信)		
タイヤルアップ 端末型接続 <u>LAA型接続</u> <u>BODTACP</u> 接続制限	パスワード(発信) 接続先 IPアドレス		
LANボート ルータ ルーティング スタティックルーティング			
IPフィルタ MACアドレスフィルタ NAT DNS名前解決 メール着信	Nスリード(者信) Unnumbered ③ 使用しない WAN側Pアドレス		



設定項目	設定例	備考
ユーザー名(発信)	UserLAN1	LAN1 のユーザー名、パスワードを設定し
パスワード(発信)	PassLAN1	ます。
ユーザー名(着信)	UserLAN2	LAN2 のユーザー名、パスワードを設定し
パスワード(着信)	PassLAN2	ます。
Unnumbered	◎使用する	
アドレス変換 NAT IP マスカレード	◎無効 ◎無効	

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

3 LAN1 のルータ設定を行ないます。

詳細設定-「ルータ」をクリックします。「ルータ設定」画面が表示されます。 LAN 情報、DHCP サーバを設定します。

● LAN 情報

設定項目	設定例	備考
LAN 側 IP アドレス ネットマスク	192.168.1.1 24 (255.255.255.0)	IP アドレス/マスク
IP フィルタ	◎有効	ご利用形態にあわせてフィルタを設定 してください。

ルータ設定-「DHCP サーバ」をクリックします。「DHCP サーバ」画面が表示されます。

● DHCP サーバ

設定項目	設定例	備考
DHCP サーバ	◎有効	
割当てアドレス 開始 IP アドレス 終了 IP アドレス	192.168.1.2 192.168.1.250	

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

Image: TOP」 - 「設定反映」をクリックします。 - 「設定しました」と表示されます。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。

≪ LAN2 側の設定≫

設定の手順は「LAN1の設定」と同様です。LAN2からの接続先がLAN1になるように設定します。 ここでは設定例の一覧を示します。

各設定画面で「更新」をクリックします。

●LAN2「専用線」設定

設定項目	設定例	備考
ユーザー名(発信)	UserLAN2	
パスワード(発信)	PassLAN2	LAN2 のユーリー名、ハスワートを設定します。
ユーザー名(着信)	UserLAN1	
パスワード(着信)	PassLAN1	LANTのユーリー名、ハスワートを設定します。
Unnumbered	◎使用する	
アドレス変換 NAT IP マスカレード	◎無効 ◎無効	

●ルータ設定 – LAN 情報

設定項目	設定例	備考
LAN 側 IP アドレス ネットマスク	192.168.2.1 24 (255.255.255.0)	IP アドレス/マスク
IP フィルタ	◎有効	ご利用形態にあわせてフィルタを設定してくだ さい。

●ルータ設定- DHCP サーバ

設定項目	設定例	備考
DHCP サーバ	◎有効	
割当てアドレス 開始 IP アドレス 終了 IP アドレス	192.168.2.2 192.168.2.250	

すべての設定更新後、「TOP」-「設定反映」をクリックします。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。

以上でLAN2 側の設定は完了です。

17 専用線を使用して、2ヶ所の LAN を接続し、既存の ____インターネットプロバイダを共有する

2ヶ所の LAN を、専用線を用いて接続します。 LAN1 の既存ルータからインターネットプロバイダに接続します。



設定のポイント

- 利用形態 16 を参照して、LAN1 と LAN2 を専用線で接続します。
- 既存の LAN に DHCP サーバがある場合は、本商品の DHCP サーバ機能を「使用しない」に設定 します。
- 既存のルータを接続している LAN1 側は、本商品のデフォルトルート経路名を「LAN」とし、ス タティックルートを設定します。
- 既存のルータを接続しない LAN2 側は、本商品のデフォルトルート経路名を「WAN」とします。

動作条件

- LAN1 と LAN2 を専用線で接続
- 双方の WAN 側 IP アドレスは設定しない(Unnumbered を使用する)
- LAN1 に既存のルータ(192.168.1.250)があり、インターネットに接続している。
- LAN1 側のネットワーク:192.168.1.0/24
- LAN2 側のネットワーク: 192.168.2.0/24

/1\ 注意

- 動作モード:「ダイヤルアップルータモード」でお使いください。
- 本商品の電源を切り、設定スイッチを「専用線」に変更してお使いください。
 128K専用線モード No.8: ON No.9: OFF
 64K専用線モード No.8: OFF No.9: ON
- 接続する本商品双方の設定スイッチを合わせてください。

設定例

≪ LAN1 側の設定≫

- 設定用のパソコンを1台決め、パソコンを本商品に接続します。
 ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。
- 2 利用形態 16 を参照して、LAN1の「専用線」接続情報を設定します。 このとき、LAN1 側のクライアントから、既存のルータを経由してインターネット接続する ための「デフォルトゲートウェイ」を設定します。

● LAN1 の専用線設定

設定項目	設定例	備考
ユーザー名(発信)	UserLAN1	 LAN1 のユーザー名、パスワードを
パスワード(発信)	PassLAN1	設定します。
ユーザー名(着信)	UserLAN2	 LAN2 のユーザー名、パスワードを
パスワード(着信)	PassLAN2	設定します。
Unnumbered	◎使用する	
アドレス変換 NAT IP マスカレード	◎無効 ◎無効	
デフォルトルート 経路名 デフォルトゲートウェイ	LAN 192.168.1.250	既存のルータからインターネット接 続するためのゲートウェイ情報を設 定します。

3 ルータ設定-「LAN 情報」、「DHCP サーバ」を設定します。

●ルータ設定-LAN 情報

設定項目	設定例	備考
LAN 側 IP アドレス ネットマスク	192.168.1.1 24 (255.255.255.0)	LAN 側の IP アドレス/ネットマスクを 設定します。
IP フィルタ	◎有効	ご利用形態にあわせてフィルタを設定し てください。

● DHCP サーバ

設定項目	設定例	備考
DHCP サーバ	◎有効	
割当てアドレス 開始 IP アドレス 終了 IP アドレス	192.168.1.2 192.168.1.250	

「更新」をクリックします。-「更新しました」と表示されます。

▲ 「ルーティング設定」 – WAN –「スタティック」を選択します。



「更新」をクリックします。-「更新しました」と表示されます。

5

LAN1 から LAN2 へのスタティックルーティング情報を設定します。

「ダイヤルアップルータモード設定」 – 詳細設定 – 「スタティックルーティング」をクリッ クします。

ダイヤルアッブルータ モード設定	▲ スタティックルーティング設定
簡単設定 ダイヤルアップ 端ま型接続	道加 削除 登録情報クリア 赤子 初先ネットワークノホフト ゲートウェイ 経営名
<u>専用線 BOD/BACP</u> 接続制限 LANポート ルータ	■ <u>■</u> が開新8 番号 宛先ネットワーク/オスト ゲートウェイ 経路名
ルーティング スタティックルーティング IPフィルタ MACストレスフィルク	

●スタティックルーティング設定

番号	宛先ネットワーク/ホスト	ゲートウェイ	経路名	備考
1	192.168.2.0/24	対向ルータの LAN 側アドレス	WAN	

LAN1 から、LAN2 へ送出されるパケットをすべて LAN2 側の IPMATE1600RD に送付する ためのスタティックルーティング情報を入力し、「追加」をクリックします。

6 「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。

≪ LAN2 側の設定≫

設定の手順は利用形態 16 の LAN2 の設定と同様です。LAN2 から LAN1 に専用線接続し、LAN1 側の 既存ルータを使用してインターネットに接続するための設定を行ないます。

■ LAN2 からの接続先が LAN1 になるように、専用線設定、ルータ設定を行ないます。

●専用線設定

設定項目	設定例	備考
ユーザー名(発信)	UserLAN2	
パスワード(発信)	PassLAN2	LANZ のユーリー名、ハスワートを改定します。
ユーザー名(着信)	UserLAN1	
パスワード(着信)	PassLAN1	LANTのユーリー石、ハスワードを設定します。
Unnumbered	◎使用する	
アドレス変換 NAT IP マスカレード	◎無効 ◎無効	
デフォルトルート	© WAN	LAN2 のデフォルトは WAN(LAN1 側)になる ので初期値のままです。
DNS サーバ プライマリ IP アドレス	192.168.1.250	既存のルータの LAN 側 IP アドレスを設定しま す。

●ルータ設定 – LAN 情報

設定項目	設定例	備考	
LAN 側 IP アドレス ネットマスク	192.168.2.1 24 (255.255.255.0)	IP アドレス・ネットマスクを設定します。	
IP フィルタ	◎有効	ご利用形態にあわせてフィルタを設定してくだ さい。	

●ルータ設定- DHCP サーバ

設定項目	設定例	備考
DHCP サーバ	◎有効	
割当てアドレス 開始 IP アドレス 終了 IP アドレス	192.168.2.2 192.168.2.250	

すべての設定更新後、「TOP」 – 「設定反映」をクリックします。 設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。 本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。 以上で LAN2 側の設定は完了です。

18 固定 IP 接続サービスを利用して、サーバを公開する _____(端末型ダイヤルアップ、NAT 使用)

インターネットプロバイダから、グローバル IP アドレスが割り当てられるサービスを使用します。 NAT 機能を使用して、LAN 側のサーバを公開します。



設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、ブラウザによる設定を行ないます。
- インターネットプロバイダから通知された電話番号、ユーザ名、パスワードを設定します。また、 DNS サーバアドレスの指定がある場合は、DNS サーバアドレスを設定します。
- インターネットプロバイダから割り当てられたグローバルアドレスを、本商品の WAN ポートに 設定します。
- アドレス変換機能を「有効」にし、公開するサーバの NAT 情報を設定します。

動作条件の例

- インターネットプロバイダ指定のグローバルアドレス(10.1.1.200)を WAN 側アドレスに設定します。
- 本商品の LAN 側 IP アドレス: 192.168.1.1
- WWW サーバと、FTP サーバをインターネットに公開し、他の端末はインターネット接続のみ行ないます。

設定例

設定用のブラウザを1台決め、パソコンを本商品に接続します。
 ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。
 インターネットプロバイダAへの接続先の設定を行ないます。

⚠ 注意

• 動作モード:「ダイヤルアップルータモード」でお使いください。

2 メニューより、「ダイヤルアップルータモード設定」 – 詳細設定 – 「端末 型接続」をクリックします。

() NTT IPmare 1600	OR	D TOP (シイヤルアップ) ブロードバンド ルータモード設定 エムモード アナログボート 着信制御 設定 設定 表示 メンテナンス
ダイヤルアッブルータ モード設定	~	端末型接続設定(詳細設定)
簡単設定 ダイヤルアップ		ダイヤルアップ RAS RASユーザー登録
<u>端末型接続</u> 詳細設定 自動接続		ダイヤルアップ
ゲイヤルアラズ		タイヤルアップ選択 ダイヤルアップ1 ▼ 設定項目 設定
LAN型接続 専用線 POD/PACR		フレッツ・ISDN ③ 利用しない 〇 利用する
<u> 接続制限</u> <u>LANポート</u>		接続先の名前
ルータ		

3 接続先の情報を設定します。

設定項目	設定例	備考
フレッツ・ISDN	◎利用する	ご契約内容にあわせて設定します。
接続先 電話番号 1	1492	
ユーザー名	User1@xxxxx.xx	フレッツ・ISDN およひインター ネットプロバイダとの契約内容に 従って設定します
パスワード	Pass1	
Unnumbered WAN 側 IP アドレス	©使用しない 10.1.1.200	Unnumbered を使用せず、グロー バルアドレスを WAN 側に設定し ます。
アドレス変換 NAT IP マスカレード	◎有効 ◎有効 (IP マスカレード用 IP アドレスの設定 は必要ありません)	サーバを公開するための NAT 設 定、および LAN 内の端末からイン ターネット接続するための IP マス カレード設定を行ないます。
DNS サーバ プライマリ IP アドレス	◎指定 100.101.102.103	プロバイダから指定された DNS サーバアドレスを設定します。
自動切断	◎無効	

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

4 本商品の LAN 情報を設定します。「ルータ」をクリックします。

O NTT						
$\textit{IPmate}1600RD \xrightarrow{\text{Im}} \underbrace{\frac{g_{1}\gamma_{1}\gamma_{2}\gamma_{2}}{\mu_{2}-g_{2}-r_{1}}}_{\mu_{2}-g_{2}-r_{1}} \underbrace{\frac{2\eta_{2}-r_{1}\gamma_{2}\gamma_{2}}{g_{2}}}_{\text{Br}} \underbrace{\frac{2\eta_{2}\eta_{2}\gamma_{2}}{g_{2}}}_{\text{Br}} \underbrace{\frac{2\eta_{2}\eta_{2}\gamma_{2}\gamma_{2}}{g_{2}}}_{\text{Br}} \underbrace{\frac{2\eta_{2}\eta_{2}\gamma_{2}\gamma_{2}}{g_{2}}}_{\text{Br}} \underbrace{\frac{2\eta_{2}\eta_{2}\gamma_{2}\gamma_{2}\gamma_{2}}{g_{2}}}_{\text{Br}}$						
ダイヤルアップルータ モード設定	<mark>ルー</mark> タ設定					
簡単設定 ダイヤルアップ 端末型接続	LAN情報 ワイヤ	レスLAN情報 DHCPサーバ DNSサーバ SYSLOG				
詳細設定	LAN情報					
<u>自動接続</u> ダイヤルアップ	設定項目	設定				
端末型接続						
LAN型接続	LANI	IP /FUX				
専用線		192.168.1.1				
	ネットマスク					
		24 (255.255.255.0) 💌				
ルータ <u>ルーティング</u> スタティックルーティング	ホスト名	IPMATE1600RD				

● LAN 情報

(この例では、初期値のまま使用します)

● DHCP サーバ

設定項目	設定例	備考
DHCP サーバ	◎有効	LAN 内端末は、DHCP サーバからローカル アドレスを割り当てます。
割り当てアドレス 開始 IP アドレス 終了 IP アドレス	192.168.1.2 192.168.1.199	インターネットに公開するサーバに割り当 てるアドレスと重複しないように割当てア ドレスを設定します。

「更新」をクリックします。-「更新しました」と表示されます。

5 特定のサーバを公開するためアドレス変換を設定します。「NAT」をクリックします。

タイヤルアップ <u>端末型接続</u> <u>LAN型接続</u>	[^] N∕	AT設定			
<u>専用線</u> BOD/BACP 接続制限 LANポート	接続	先選択 ダイヤルアップ1 💙 追加 削除 登録:	情報クリア		
ルータ ルーティング スタティックルーティング	#	号 LAN(側IPアドレス	ポート番号 開始 終了	プロトコル	WAN们IPアドレス
MASZFLZZIUS	■ 端末	型接続設定			
<u>DNS名前解決</u> メニル着信	 登録 ◆ 番号 	"情報 ・LAN側IPアドレス ポート番号	-(開始) ポート番号(終了) プロ丨	~コル WAN側IPアドレス

● NAT 設定 設定項目

「接続先選択」:NAT 設定を行なう接続先を選択します。

番	LAN 側	ポート番号		プロトコル	プロトコル WAN 側 備老	—————————————————————————————————————
号	IP アドレス	開始	終了		IPアドレス	加考
1	192.168.1.200	20	21	*	10.1.1.200	FTP サーバを公開します。
2	192.168.1.210	80		*	10.1.1.200	WWW サーバを公開します。

「更新」をクリックします。-「更新しました」と表示されます。

6 「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。

19 フレッツ・グループアクセス(NTT 東日本)/フ レッツ・グループ(NTT 西日本)を利用して、 Windows ファイルを共有する(端末型払い出し)

フレッツ・グループアクセス(NTT 東日本)/フレッツ・グループ(NTT 西日本)に参加すると、 地域 IP 網を通して、異なる拠点の LAN などを接続することができます。Windows のファイル共有を 行なう場合は、共有フォルダ用パソコンを NAT で設定します。



設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、ブラウザによる設定を行ないます。
- フレッツ・グループアクセス(NTT 東日本) /フレッツ・グループ(NTT 西日本)のユーザ名、 パスワードを設定します。
- 本商品の LAN 内の 1 端末のフォルダをグループに公開します。
- アドレス変換機能を「有効」にし、フォルダ公開のための NAT 情報を設定します。
- 共有フォルダを公開するための IP フィルタを設定します。

動作条件の例

- フレッツ・グループアクセス(NTT 東日本) /フレッツ・グループ(NTT 西日本)端末型払い出し、2拠点(IP アドレス: 192.168.100.1、192.168.100.2)として設定します。
- フレッツ・グループアクセス(NTT 東日本) /フレッツ・グループ(NTT 西日本)の拠点アドレス: 192.168.100.1 を本商品の WAN 側に設定します。
- 本商品の LAN 側 IP アドレス: 192.168.1.1 (DHCP 有効)
- LAN 内の1端末をグループに公開し、他の端末はグループ内共有フォルダの参照のみ行ないます。

設定例

1 設定用のブラウザを1台決め、パソコンを本商品に接続します。

ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。

フレッツ・グループアクセス(NTT 東日本)/フレッツ・グループ(NTT 西日本)の接続 先設定を行ないます。

/ 注意

- 動作モード:「ダイヤルアップルータモード」でお使いください。
- 2 メニューより、「ダイヤルアップルータモード設定」 詳細設定 「端末 型接続」をクリックします。

ONTT IPmare 1600F	
ダイヤルアップルータ モード設定	端末型接続設定(詳細設定)
簡単設定 ダイヤルアップ <u>端末型接続</u> 詳細設定 自動接続 「オイヤルアット	ダイヤルアップ RAS RASユーザー登録 ダイヤルアップ ダイヤルアップ ダイヤルアップ選択 ダイヤルアップ1 設定項目 設定
専用線 BOD/BACP 接続制限 LANボート ルータ	フレッツ・ISDN ●利用しない ●利用する 接続先の名前

3 接続先の情報を設定します。

設定項目	設定例	備考		
フレッツ・ISDN	◎利用する			
接続先 電話番号 1	1492	フレッツ・グループアクセス		
ユーザー名	groupuser1@xxxxx.xx	(NTT 東日本) / ノレッツ・クルー プ(NTT 西日本)のグループ管理 老から指定されたユーザターパス		
パスワード	grouppass1	「日から相足されたユーリーム、ハス」 ワードを設定します。		
Unnumbered WAN 側 IP アドレス	©使用しない 192.168.100.1	Unnumbered を使用せず、WAN 側 IP アドレスを設定します。		
アドレス変換 NAT IP マスカレード	◎有効 ◎有効	グループに端末を公開するための NAT 設定、および LAN 内の端末か らグループの他の端末に接続する ための IP マスカレード設定を有効 とします。		

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました。」と表示され、設定反映後本商品が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、引き続き設定を行な うことができます。

4 共有フォルダを公開するための NAT を設定します。

「ダイヤルアップルータモード設定」-「NAT」をクリックします。

● NAT 設定

番	LAN 側	ポー	卜番号	プロトコル	WAN 側	備考	
号	IP アドレス	開始	終了		IP アドレス		
1	192.168.1.4	137	139	*	*	NetBIOS over TCP/IP によ るフォルダ共有	
2	192.168.1.4	445		*	*	ダイレクト・ホスティング SMB サービス	

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

5 NetBIOS に関する IP フィルタを設定します。

番号 動作 経路名 方向 送信元情報 ブロトコル IPアドレス ネットマスク ボート番号 reject ▼ WAN ▼ inout ▼ IPアドレス ネットマスク ボート番号 第二 第二 第二 第二 <t< th=""><th>Pフィルタ部 ^{追加} 削除</th><th><mark>と定</mark>] 登録情報クリア</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></t<>	Pフィルタ部 ^{追加} 削除	<mark>と定</mark>] 登録情報クリア					
IPアドレス ネットマスク ポート番号 reject WAN ▼ inout ▼ 第二 第二 第二<	番号 動作 ;	経路名 方向	边	信元情報		プロトコル	
reject WAN v inout v * 宛先情報 IPアドレス ネットマスク ポート番号			IPアドレス	ネットマスク	ポート番号		
	reject 💌 V	WAN 🚩 inout 💌				*	*
			3	宛先情報			
			IPアドレス	ネットマスク	ポート番号		
	一次設定						
2巻/男灯下で「TF/XC/TX00000200にようていシイルシックがあり回び信又足C作しています。	意)動作モード及び接続	記能能によってIPフィルタ	の初期値が設定さ	れています。			
IPフィルク設定を変更した後に、動作モードや接続形態を変更すると、 コノルク設定がエードの初期項に戻って、まいますのででは食ください	IPフィルタ設定を変更	した後に、動作モードや	接続形態を変更す	ると、			

●常時接続の IP フィルタ初期値の 1-8 番を削除します。「番号」を入力し、「削除」をクリックします。

番号	動作	経路名	方向	送信元IPアドレス	送信元ポート	ブロトコル	宛先IPアドレス	宛先ポート
01	reject	WAN	out	*	netbios_ns	*	*	*
02	reject	WAN	out	*	netbios dgm	*	*	*
03	reject	WAN	out	*	netbios_ssn	*	*	*
04	reject	WAN	out	*	microsoft-ds	*	*	*
05	reject	WAN	out	*	*	*	*	netbios_ns
06	reject	WAN	out	*	*	*	*	netbios_dgm
07	reject	WAN	out	*	*	*	*	netbios ssn
08	reject	WAN	out	*	*	*	*	microsoft-ds
09	Pass	WAN	in	*	*	established	*	*
10	reject	WAN	in	*	*	topsyn	localhost	*
11	pass	WAN	in	*	*	*	*	_ www
12	pass	WAN	in	*	*	*	*	ftp
13	pass	WAN	in	*	ftpdata	*	*	*
14	pass	WAN	in	*	*	*	*	smtp
15	pass	WAN	in	*	*	*	*	pop3
16	pass	WAN	in	*	*	*	*	telnet
17	reject	WAN	in	*	*	tcp	*	*
18	reject	WAN	in	*	*	*	*	dhcps

● IP フィルタの追加

퐈	平 级 吸	7 047	送信元情報				宛先情報			
留号	動作	名	方向	IP アドレス	ネット マスク	ポート 番号	コル	IP アドレス	ネット マスク	ポート 番号
1	Pass	WAN	Inout	*		137	*	192.168.1.4		*
2	Pass	WAN	Inout	*		138	*	192.168.1.4		*
3	Pass	WAN	Inout	*		139	*	192.168.1.4		*
4	Pass	WAN	Inout	*		445	*	192.168.1.4		*
5	Pass	WAN	Inout	192.168.1.4		*	*	*		137
6	Pass	WAN	Inout	192.168.1.4		*	*	*		138
7	Pass	WAN	Inout	192.168.1.4		*	*	*		139
8	Pass	WAN	Inout	192.168.1.4		*	*	*		445
9	Pass	WAN	Inout	*		*	*	192.168.1.4		139
10	Pass	WAN	Inout	192.168.1.4		139	*	*		*

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

⑥ 「TOP」−「設定反映」をクリックします。−「設定しました」と表示されます。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。 本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。

≪グループ内共有フォルダを参照するには≫

・「スタート」-「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

名前(0)にフォルダを公開しているフレッツグループの拠点 IP アドレスを入力し、 「OK」をクリックします。

ファイル名	を指定して実行 🛛 ? 🔀
	実行するプログラム名、または開くフォルダやドキュメント名、インターネットリソース名を入力してください。
_	OK 「キャンセル 」 「参照(B)…」

例) 拠点 IP アドレス: 192.168.200.1 の共有フォルダを表示する場合 ・共有フォルダが表示されます。


20 フレッツ・グループアクセス(NTT 東日本)/フ レッツ・グループ(NTT 西日本)を利用して、 Windows ファイルを共有する(LAN 型払い出し)

フレッツ・グループアクセス(NTT 東日本)/フレッツ・グループ(NTT 西日本)に参加すると、 地域 IP 網を通して、異なる拠点の LAN どうしを接続することができます。



設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、ブラウザによる設定を行ないます。
- フレッツ・グループアクセス(NTT 東日本) /フレッツ・グループ(NTT 西日本)の管理者から 通知されたユーザ名、パスワードを設定します。
- アドレス変換機能を「無効」にし、フォルダ公開のための IP フィルタを設定します。
- 本商品の LAN 側 IP アドレスをそれぞれ 192.168.100.1、192.168.200.1 と設定し、DHCP サーバー機能は無効とします。

動作条件の例

- フレッツ・グループアクセス(NTT 東日本) /フレッツ・グループ(NTT 西日本)、LAN 型払い 出し、2 拠点(IP アドレス: 192.168.100.1、192.168.200.1)として設定します。
- 本商品の WAN 側アドレスは Unnumbered を使用します。
- ■本商品に接続して、フレッツ・グループアクセス(NTT 東日本) /フレッツ・グループ(NTT 西日本)に参加するすべてのパソコンに、LAN 型払い出しで割り当てられる IP アドレスを設定し、 ゲートウェイアドレス、DNS サーバアドレスに本商品の LAN 側 IP アドレスを設定します。

設定例

1 設定用のブラウザを1台決め、パソコンを本商品に接続します。

ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。

フレッツ・グループアクセス(NTT 東日本)/フレッツ・グループ(NTT 西日本)の接続 先設定を行ないます。

• 動作モード: 「ダイヤルアップルータモード」でお使いください。

2 メニューより、「ダイヤルアップルータモード設定」-詳細設定-「端末 型接続」をクリックします。

ONTT IPmare 1600R	$D \xrightarrow{\text{Top}} \frac{3(1+1)(7+7)}{1-97-162} \xrightarrow{\frac{1}{2}(1-1)(7+7)} \xrightarrow{\text{TAT-F}} \xrightarrow{\text{TAT-F}} \frac{3(1+1)(2+7)(7+7)}{10} \frac{3(1+1)(7+7)}{10} \frac{3(1+1)(7+7)(7+7)}{10} \frac{3(1+1)(7+7)(7+7)(7+7)}{10} \frac{3(1+1)(7+7)(7+7)(7+7)}{10} \frac{3(1+1)(7+7)(7+7)(7+7)}{10} \frac{3(1+1)(7+7)(7+7)(7+7)}{10} \frac{3(1+1)(7+7)(7+7)(7+7)}{10} \frac{3(1+1)(7+7)(7+7)(7+7)(7+7)}{10} \frac{3(1+1)(7+7)(7+7)(7+7)(7+7)}{10} \frac{3(1+1)(7+7)(7+7)(7+7)(7+7)}{10} \frac{3(1+1)(7+7)(7+7)(7+7)}{10} \frac{3(1+1)(7+7)(7+7)}{10} \frac{3(1+1)(7+7)}$
ダイヤルアップルータ モード設定	端末型接続設定(詳細設定)
簡単設定 ダイヤルアップ	ダイヤルアップ RAS RASユーザー登録
<u> </u>	ダイヤルアップ
ダイヤルアッフ 諸王型接続	タイヤルアラン24元 タイヤルアラノ ▼ 設定項目 設定
EHNULIERE 専用線 BOD/BACP	フレッツ・ISDN ③利用しない 〇利用する
<u> 接続制限</u> <u>LANポート</u> ルータ	接続先の名前

3 接続先の情報を設定します。

注意

設定項目	設定例	備考
フレッツ・ISDN	◎利用する	
接続先 電話番号 1	1492	フレッツ・グループアクセス(NTT 東
ユーザー名	groupuser1@xxxxx.xx	日本)/フレッツ・グループ(NTT 西 日本)のグループ管理者から指定され
パスワード	grouppass1	たユーザ名、パスワードを設定します。
Unnumbered	◎使用する	Unnumbered を使用します。
アドレス変換 NAT IP マスカレード	◎無効 ◎無効	すべての端末に LAN 型払い出しで割当 てられた IP アドレスを設定します。

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました。」と表示され、設定反映後本商品が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、引き続き設定を行な うことができます。

4 NetBIOS に関する IP フィルタを設定します。

「ダイヤルアップルータモード設定」 – 「IP フィルタ」をクリックします。

	設定	浄性振わいア	۲ ۲			
		所用手指シンプ	J			
番号 動作	経路名	方向	j	送信元情報		プロトコル
			IPアドレス	ネットマスク	ポート番号	
reject 🗸	WAN 💌	inout 💌				* 🗸
				宛先情報		
			IPアドレス	ネットマスク	ポート番号	
E意)動作モード及び接続形態によってIPフィルタの初期値が設定されています。						
IPフィルタ設定を変	を更した後に、	、動作モードや	接続形態を変更す	ると、		
フィルタ設定がモ	ードの初期値	に戻ってしまい	ますのでご注意く	ださい。		

●常時接続の IP フィルタ初期値の 1-8 番を削除します。「番号」を入力し、「削除」をクリックします。

番号	動作	経路名	方向	送信元IPアドレス	送信元ポート	プロトコル	宛先IPアドレス	宛先ポート
01	reject	WAN	out	*	netbios ns	*	*	*
02	reject	WAN	out	*	netbios_dgm	*	*	*
03	reject	WAN	out	*	netbios_ssn	*	*	*
04	reject	WAN	out	*	microsoft-ds	*	*	*
05	reject	WAN	out	*	*	*	*	netbios_ns
06	reject	WAN	out	*	*	*	*	netbios dgm
07	reject	WAN	out	*	*	*	*	netbios ssn
08	reject	WAN	out	*	*	*	*	microsoft-ds
09	Pass	WAN	in	*	*	established	*	*
10	reject	WAN	in	*	*	topsyn	localhost	*
11	pass	WAN	in	*	*	*	*	www
12	pass	WAN	in	*	*	*	*	ftp
13	pass	WAN	in	*	ftpdata	*	*	*
14	pass	WAN	in	*	*	*	*	smtp
15	pass	WAN	in	*	*	*	*	pop3
16	pass	WAN	in	*	*	*	*	telnet
17	reject	WAN	in	*	*	tcp	*	*
18	reject	WAN	in	*	*	*	*	dhops

● IP フィルタの追加

¥		火又中文		送信元情報			ᆔᇝ	宛先情報		
留号	動作	名	方向	IP アドレス	ネット マスク	ポート 番号	コル	IP アドレス	ネット マスク	ポート 番号
1	Pass	WAN	Inout	*		137	*	*		*
2	Pass	WAN	Inout	*		138	*	*		*
3	Pass	WAN	Inout	*		139	*	*		*
4	Pass	WAN	Inout	*		445	*	*		*
5	Pass	WAN	Inout	*		*	*	*		137
6	Pass	WAN	Inout	*		*	*	*		138
7	Pass	WAN	Inout	*		*	*	*		139
8	Pass	WAN	Inout	*		*	*	*		445

フレッツ・グループアクセス(NTT東日本)/フレッツ・グループ(NTT西日本)を利用して、 Windowsファイルを共有する(LAN型払い出し)

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。

≪グループ内共有フォルダを参照するには≫

「スタート」-「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
 名前(0)にフォルダを公開しているフレッツグループの拠点 IP アドレスを入力し、
 「OK」をクリックします。

ファイル名を指定して実行 ?		
-	実行するプログラム名、または開くフォルダやドキュメント名、インターネ ットリソース名を入力してください。	
名前(<u>O</u>):	¥¥192.168.100.2	
	OK キャンセル 参照(B)	

例) グループアクセス拠点 IP アドレス: 192.168.100.2 の共有フォルダを表示する場合・ ・共有フォルダが表示されます。



21 アクセスポイントモードでワイヤレス LAN のエリア <u>を拡張する(ローミング)</u>

IPMATE1600RD の LAN に、もう 1 台の IPMATE1600RD をアクセスポイントモードで追加し、ワイ ヤレス LAN のエリア(無線通信可能な範囲)を拡張します。



設定のポイント

- 既存の IPMATE1600RD の LAN ポートと、本商品の LAN ポートを「クロスケーブル」で接続します。
- 既存の IPMATE1600RD の LAN にアクセスポイントモードで IPMATE1600RD を追加し、ワイヤレス LAN エリアを拡張します。
- 既存の IPMATE1600RD が DHCP サーバとなり、拡張されたワイヤレス LAN の端末にアドレス を配信します。

動作条件の例

- 既存の IPMATE1600RD は、ダイヤルアップルータモード、あるいはブロードバンドルータモー ドで使用されており DHCP サーバとして設定されているものとします。
- 既存のワイヤレス LAN と追加された IPMATE1600RD のワイヤレス LAN の間はローミング可能です。
- 既存の IPMATE1600RD と同一になるよう、追加する IPMATE1600RD のワイヤレス LAN 情報を 設定します。

⚠️注意_

動作モード:「アクセスポイントモード」でお使いください。

設定例

1 設定用のブラウザを1台決め、パソコンを本商品に接続します。

ブラウザを起動し、ブラウザ設定画面を表示します。

メニューより、ブロードバンドルータモード-「接続形態選択」画面から、「アクセスポイント」をクリックし、「更新」をクリックします。「更新しました」と表示されます。



3 メニューより、ブロードバンドルータモード-「ルータ」をクリックし ます。「ワイヤレス情報」、「DHCP サーバ」について設定します。

ブロードバンドルータ モード設定	<mark>ルー</mark> タ設定	
接続形態選択	LAN情報 「ワイヤレスLAN情報」 DHCPサーバ DNSサーバ	SYSLOG
ルーナインシ スタティックルーティング IPフィルタ MACアドレスフィルタ	LAN情報 設定項目 設定	
<u>NAT</u> DNS名前解決 メール着信 ランプ表示	LAN側 IPアドレス 192.168.1.1 ネットマスク	

● ワイヤレス LAN 情報

設定項目	設定例	備考
ESSID	既存の LAN と同じ値に設定	
WEP	既存の LAN と同じ値に設定	
チャネル	既存の LAN と異なる値に設定	*無線状態に応じて設定します。

● DHCP サーバ

4

設定項目	設定例	備考
DHCP サーバ	◎無効	既存の IPMATE1600RD からネット ワークアドレスを割り当てます。

「更新」をクリックします。- 「更新しました」と表示されます。

「TOP」-「設定反映」をクリックします。-「設定しました」と表示されます。

設定反映後、IPMATE1600RD が再起動されます。

本商品のすべてのランプが橙点灯後、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。